

令和5年 新政たかやま 視察報告書

- ・視察期間： 令和5年8月4日（木） 10:00-11:30
- ・視察先： 福岡市中央区天神 スタートアップカフェ
- ・参加者： 榎 隆司、沼津 光夫、西田 稔、伊東 寿充、西本 泰輝、石原 正裕
水野 千恵子、戸田柳平、中村匠郎、水門義昭

・視察項目

- コワーキングスペースを併設した創業支援施設の活用状況と実態、展望について

・視察の目的

高山市にも創業支援政策があるが、個々の起業についての動きはあるものの、市全体の「機運の高まり」のようなものはあまり感じられない。

また駅西地区の再開発が検討されていることもあることから、この施設を皮切りに平成28年3月に策定された「旧大名小学校跡地まちづくり構想」の一翼として平成26年10月にオープンしたスタートアップカフェを視察する。

・視察内容

今年春までスタートアップカフェのスタッフとして各種サポートと運営に従事しており、現在も同施設の利用者である安部氏に施設をご案内頂き、お話を伺った。



●START UP CAFÉ について

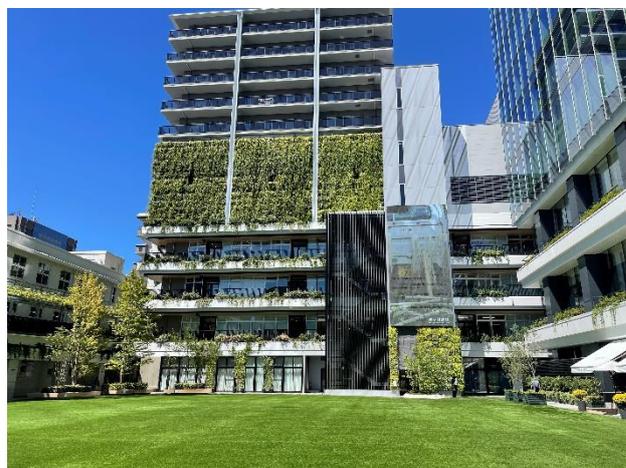
福岡市は日本国内でもスタートアップ企業の活動が盛んな地域の一つとして知られている。スタートアップカフェは、地域の起業家やクリエイターたちに向けた創造的な共有の場である。起業家やビジネスマインドを持つ、若手を中心とした様々な年代の、様々な個性を持った人々が集まり、アイデアの交換や共有、交流が出来る、ビジネス成長の支援を受けられる場所として注目されている。

この施設は福岡市の中心地のひとつである天神にある。福岡市最古の小学校でもあった旧大名小学校の跡地をリノベーションして福岡市によって作られた。これは福岡市による「旧大名小学校跡地活用事業」の一環であり、今年オープンした「福岡大名ガーデンシティ」の一翼を担う施設として2014年10月にスタートした。蔦屋書店などを運営する株式会社CCCが指定管理者として運営している。

『福岡大名ガーデンシティ』コンセプト

門をモチーフにしたシンボルを抜けると、人々が自由に交流する緑のガーデンへ。
そのガーデンを囲むように、新しいまちひろがります。
世界有数のラグジュアリーホテル。創造的なオフィス空間。
先進的なカンファレンスフロア。最先端の商業施設。
ゆとりの住環境やコミュニティ施設。
すべての新しい可能性が、ここにはあります。
この新しいまちから、新しい未来を一緒に。(福岡大名ガーデンシティ ホームページより)

スタートアップカフェ全景



この事業は「天神ビッグバン」という地区全体の再開発構想の一環でもある。

『天神ビッグバン』とは

天神ビッグバンは、警固断層等のリスクがあるなか、更新期を迎えたビルが耐震性の高い先進的なビルに建て替わることにより、多くの市民や、働く人・訪れる人の安全・安心につながるもので、さらに都心部の機能を高め、新たな空間や雇用、税収を生み出すプロジェクトです。

建替えにあわせ、水辺やみどり、文化・芸術、歴史などが持つ魅力にさらに磨きをかけ、多様な個性や豊かさを感じられる、多くの市民や企業から選ばれるまちづくりに取り組んでいます。(福岡市役所ホームページより)

●スタートアップカフェの特徴

1. ネットワーキングの場: スタートアップカフェは福岡市内の複数の地域に存在し、起業家同士が気軽に交流できる場所として機能している。定期的なイベントやワークショップも開催され、異なるスタートアップ同士がアイデアを共有し合う機会を提供している。
2. アクセス可能なロケーション: 福岡市内の様々な所にアクセスしやすい天神エリアにあり、多くの起業家や専門家が利用しやすい環境が整備されている。また当施設の他に、ものづくりやITエンジニアリングに特化した同様の施設が近くにあり、ソーシャルな交流が活発に行われている。
3. リソースとサポート: スタートアップカフェでは、ビジネスプランの策定から資金調達、マーケティング戦略の構築まで、幅広いビジネス関連のサポートが提供されている。専門家の相談やコンサルティングサービスも利用出来る。
4. イノベーションと協力: 福岡市のスタートアップカフェは、大学や研究機関との連携を促進し、技術革新や新たなビジネスモデルの創造を支援している。また起業家と研究者が交流する場を提供し、新たなアイデアの創出を助けている。

1Fのコワーキングスペースには様々な資料があり、利用者は無料で閲覧出来る。



現在施設を利用しているスタートアップ企業の紹介

スタートアップカフェには、起業の案内役であるコンシェルジュが常駐しています。毎日予約なしで相談でき、「何から始めればいいのか」という質問から、アイデア固め、事業計画の作成、資金調達まで幅広く対応します。IT、介護、福祉、ゲームなどに精通した各分野のコンシェルジュにも相談可能です。また、毎週木曜日夕方には、行政書士等の専門家との個別相談も実施しています(要予約)。

他に、スタートアップ企業とそこで働きたい人をつなぐ「人材マッチングセンター」、海外展開を考えている人や福岡で起業したい外国人の相談を受ける「グローバルスタートアップセンター」などの機能も備えています。さらに、「雇用労働相談センター」も併設され、弁護士等が常駐して、労務や人事等の相談に応じています。

(福岡市役所ホームページより)

視察当日には確認出来なかったが、韓国・マレーシア・香港など外国人の利用者もいて、その中で起業を通じて定住に至ったケースも少なくない。

考察

高山市にも様々な起業や創業に関するサポートがある。福岡との大きな違いは、

- ・支援体制が点在しており、ソーシャルな繋がりが希薄であること
- ・まちづくりの方針との親和性が見えづらいこと
- ・民間企業との融和

が挙げられる。

福岡市はこれらのスタートアップ支援と様々な人々が交流出来る場としてのコワーキングスペースを融合させることで、

- ・街の GDP を上げる。
- ・関係人口を増やす。
- ・若者人口を増やす。

これらを目指し、かつ将来的に安定した人口と税収の獲得を狙っており、またそのための施策として非常に効果的だと捉えた。

高山市と福岡市とは規模感も人口も全く違うが、高山市は信州・北陸・愛知/岐阜から車で2時間の距離にあり、特に駅西地区で展開させることが出来ればハブとして機能させられる可能性は十分ある。

「縦割り体制の是正」「民間との協働」「機能の集約と融合」を進めていくことで、福岡のスタートアップカフェのような効果を期待出来るのではないかと考える。